

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分、一部、令和7年度分を含む)

静岡県立富士東高等学校

〒417-8571 富士市今泉2921番地

電話 (0545) 21-4371

FAX (0545) 21-1493

目 次

1	事務事業の概要	1
2	事務執行の根拠法令調	15
3	学校施設の概要	16
4	在籍生徒調	18
5	入学志願者及び入学者数調	19
6	卒業生の動向調	20
7	生徒の状況	21
8	授業料収納状況調	22
9	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	23
10	預金調	23
11	郵券等受払調	23
12	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	24
13	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	25
14	委託料に関する調	26
15	負担金支出調	29
16	建築工事調	30
17	公有財産調	32
18	借地借家等調	33
19	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	35
20	行政財産貸付・使用許可調	36
21	普通財産・借受財産等貸付調	37
22	職員公舎管理状況調	38
23	主要備品調	39
24	職員調	40
25	職員の年齢調	42
26	健康管理	43

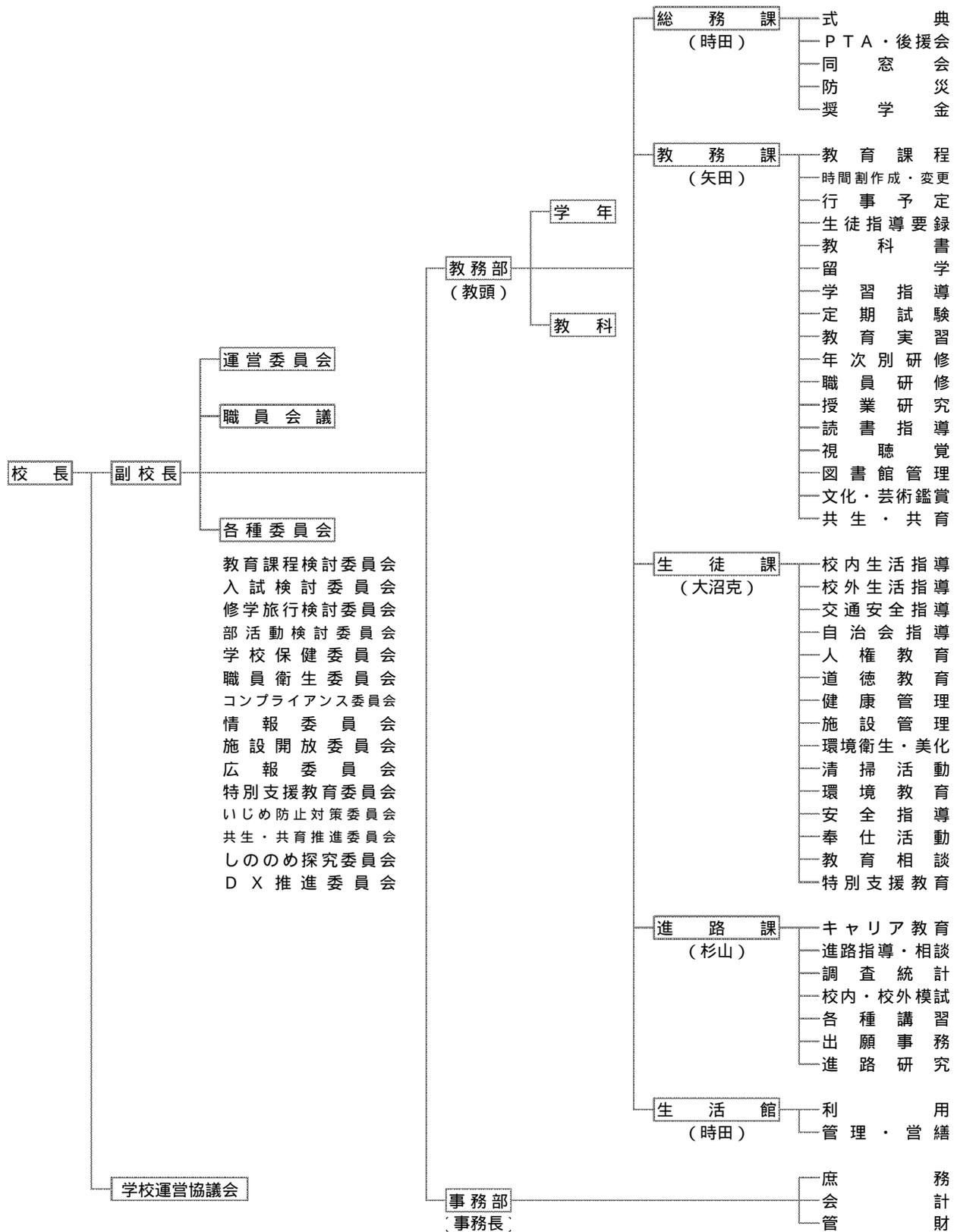
事務事業の概要

1 概 況

(1) 学校の沿革

昭和50年11月26日	静岡県教育委員会は、「静岡県高等学校整備中期計画」において富士地区に高等学校を新設することに決定
昭和52年4月1日	新設高等学校設立準備委員発令
昭和52年4月26日	設置場所を富士市今泉木の宮に決定
昭和52年12月12日	静岡県議会において設立が認可され、校名を静岡県立富士東高等学校と決定
昭和53年3月25日	第1期工事竣工
昭和53年4月1日	開校 1学年8学級(入学定員360人)
昭和54年3月20日	第2期工事竣工
昭和55年2月28日	第3期工事竣工
昭和55年4月1日	1学級増 9学級(入学定員405人)となる。
昭和55年8月30日	体育館工事竣工
昭和56年4月1日	1学級減 8学級(入学定員360人)となる。
昭和56年6月3日	プール及び付属棟工事竣工
昭和62年3月13日	学級増に伴う教室建設工事竣工
昭和62年4月1日	1学級増 9学級(入学定員405人)となる。
平成2年4月1日	1学級減 8学級(入学定員360人)となる。
平成5年4月1日	1学級増 9学級(入学定員387人)となる。
平成6年4月1日	1学級減 8学級(入学定員336人)となる。
平成7年4月1日	入学定員328人となる。
平成8年4月1日	入学定員320人となる。
平成8年5月29日	学校後援会より生活館敷地2,121.88㎡を寄付受納
平成10年4月1日	1学級増 9学級(入学定員360人)となる。
平成13年4月1日	1学級減 8学級(入学定員320人)となる。
平成18年1月26日	体育館耐震工事完成
平成20年4月1日	1学級減 7学級(入学定員280人)となる。
平成21年4月1日	1学級増 8学級(入学定員320人)となる。
平成21年11月20日	管理棟、教室棟耐震補強工事完成
平成23年4月1日	1学級減 7学級(入学定員280人)となる。
平成29年10月31日	創立四十周年記念式典・記念公演開催
平成30年4月1日	1学級減 6学級(入学定員240人)となる。
令和3年4月1日	1学級減 5学級(入学定員200人)となる。
令和5年4月1日	同一敷地内に静岡県立富士特別支援学校富士東分校開校
令和6年4月1日	1学級減 4学級(入学定員160人)となる。

(2) 組織図



2 スクール・ミッションとスクール・ポリシー

(1) スクール・ミッション

地域から信頼される文武両道の富士地区普通科高校として、大学や企業との連携・協働による実践的な探究学習を核として、広い視野や新たな価値を見出すための教科横断的な学びを展開することで、社会的な課題に関心を持ち、主体的に自らの道を切り拓こうとする力を育む教育を実践し、地域社会の発展を担うリーダーとして活躍する人材の育成を目指す。

(2) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>21世紀中盤の社会を支える担い手として、【思考力】【主体性】【コミュニケーション能力】を発揮し、次のような人となることを目指す。</p> <p>教科横断的な知識と幅広い教養を基に、発想力を高め、論理的に深く思考できる。</p> <p>自ら課題を発見し、その解決に向けて積極的に社会とつながり、主体的に行動できる。</p> <p>広い視野と深い探究心をもって多様な価値を尊重し、他者と協働できる。</p>	<p>教科横断的な学習を実践できる教育課程を編成し、主体的・対話的で深い学びを実現する。大学や企業と連携した「しのため探究」を核として、全ての教育活動において探究的・課題解決的なプロセスを重視し、主体的に学ぶ姿勢を養う。</p> <p>他者との対話・交流を大切にした取組を通して、協調的な学びの基盤づくりを推進する。</p>	<p>知的好奇心が旺盛で、自ら学びを深めようとする生徒</p> <p>チャレンジ精神と向上心にあふれ、目的意識をもって行動しようとする生徒</p> <p>自己理解、他者理解に努め、思いやりをもって周囲の人々と関わろうとする生徒</p>

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

取組目標	成果目標 (〔育〕: 学校評価アンケートにおける肯定的評価の割合)	達成状況 (丸数字は学年)	評価	成果と課題
ア 自己の在り方生き方を主体的に深く考え、その実現に向けて粘り強く切磋琢磨する生徒を育てる。	・学校で課された共通の課題に加え、予習・復習を含めた自主的な学習をしている生徒 / 70%以上	57.4% 63.7% 90.2% 全体71.5%	B	<ul style="list-style-type: none"> 全体としては70%を超えているが1、2年生におけるプラスの学習の定着が課題。 1、2年生における家庭学習時間伸長のための仕掛けを工夫する。 駿台 atama+ を、学年部の協力を得て実施した。さらに効果的に活用できるよう工夫する。 結果分析会は、年度初めに各学年の性質を把握する有益な時間であるので継続する。 進路支援体制の満足度が保護者も含め目標値に達した。 3年間の学年団の粘り強い指導により共通テスト受験率100%達成した。 生徒の進路希望を踏まえ、前年度から人選を進める。自己の在り方生き方を考える取組を一層充実させたい。
	・1週間の家庭学習時間の平均 / 1年14h 2年16h 3年32h	9.4h 9.7h 33.8h	C	
	・駿台 atama+ の効果的な活用 / 1、2学年	年6回実施した。積極的に活用した生徒が多かった。	B	
	・スタディーサポート結果分析会 / 全学年で実施	全学年で実施した。	A	
	・生徒の進路希望実現のための、個に応じた学習支援や進路支援体制が整っている / [育]80%以上	92.0% 91.4% 84.2% 保80.0%教85.7%	A	
	・大学入学共通テスト受験率 / 100% (3年生)	100%	A	
	・進路閲覧室の充実を通して、必要な進路情報を適切に発信している / [育]90%以上	92.0% 91.4% 94.5% 保84.1%教91.7%	B	
	・外部検定に挑戦する生徒 / 50%以上	13.3% 29.2% 29.6%	C	
・PTA職業講話、卒業生進路講話が有意義だったと答える生徒 / それぞれ80%以上	P 87.7% 91.8% 卒 92.5% 94.7%	A		

取組目標	成果目標 (〔商〕…学校評価アンケートにおける肯定的評価の割合)	達成状況 (丸数字は学年)	評価	成果と課題	
イ	探究心をもって問いを立て、多様な人々と協働しながら根拠ある解決策を導き出す学習活動を充実させる。	・学生サポート満足度 / 80%以上	90.1% 92.9%	A	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県立大学の学生サポートは生徒の学習や課題解決に大きな刺激を与えている。来年度以降の継続についても検討する。 探究教材『Question X』を活用し、自分ごとになる課題設定を促した。 外部との接点を持った生徒は、昨年度よりは増加したが、まだ一部にとどまる。 探究活動に前向きに取り組む生徒が多いので、外部への発信の機会を検討したい。 次年度だけでなく、令和8年度も見据えて教育課程の検討を行っている。
		・自身が解決したい課題を明確にできた生徒 / 90%以上	91.3% 88.3%	B	
		・探究活動に前向きに取り組んだと答える生徒 / 70%以上 (情報収集、整理・分析、まとめ・表現の達成度)	88.9% 91.2%	A	
		・外部との接点をもった生徒 / 100%	18.0% 10.0%	D	
		・探究活動を積極的に発信した生徒 / 10%	2.5% 2.4%	D	
		・年度末までに令和7年度入学生版「しのめ探究」3年計画を作成	DXハイスクールとしての取組を踏まえつつ、探究活動の内容について検討している。		
ウ	各教科における指導と評価の一体的な充実を通して、質の高い学力を育む。	・年間指導計画に基づいた「指導と評価の計画」の見直しをもっている教員 / 100%	96.8%	B	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画に基づいた、指導と評価の一体化の考え方への理解が進んだ。 授業における「問い」の設定と「成果」の想定を意識できた。 7割程度の生徒は見直しを持っているが、1年生がやや低い。 課題の見直しと同様、1年生の肯定的割合が低い。自らの学習を振り返る機会の充実による自己調整力の育成が必要である。 授業において「主体性」を発揮する場面がやや数値的に低いが、育成を目指す資質・能力を発揮しながら授業に臨むことができた。 ICTを活用できる環境は整いつつある。 タブレット端末の活用について、昨年度同様3年生の活用が低くなっている。 次年度以降もよりよい教育課程の編成のため、必要な検討を続けていく。
		・単元ごとに「問い」の設定と「成果」の想定をした教員 / いずれも90%以上	問い 190.3% 成果 93.5%	A	
		・毎時または単元の始めに、課題(問い)の見直しをもっている生徒 / 80%以上	70.3% 86.2% 76.7%	B	
		・毎時または単元の終わりに、自らの学習状況を把握している生徒 / 80%以上	65.8% 77.2% 81.6%	B	
		・毎時または単元の終わりに、その後の学習への目標や課題を意識している生徒 / 80%以上	66.7% 72.5% 73.5%	B	
		・授業で自らの「思考力」「主体性」「コミュニケーション能力」を使う場面があると答える生徒 / 100%	思 94.4% 94.7% 主 91.8% 91.4% 94.2% コ 83.1% 92.0% 93.6% 88.8%	B	
		・ICT活用や協働的な学び等を通じた、魅力ある授業を展開している / [肯]80%以上	84.7% 88.6% 76.2% 保88.5%教91.7%	A	
		・Google Classroom、ロイロノート、Cラーニングを授業で活用した教員 / 70%以上	67.7%	B	
		・1人1台タブレットを活用したと答える生徒 / 80%以上	85.8% 77.8% 49.7%	C	
		・11月までにR7乙変更の大筋を決定	教育課程検討委員会を重ね、決定できた。		

取組目標	成果目標 (〔育〕: 学校評価アンケートにおける肯定的評価の割合)	達成状況 (丸数字は学年)	評価	成果と課題
工 学習・特別活動・部活動の両立を通して、知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育成し、人格の完成を目指す。	・図書館の充実、読書週間の設定など、読書をする環境が整っている / [育] 80%以上	90.7% 91.4% 85.5% 保88.4%教97.1%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・読書しやすい環境の整備を継続する。 ・読書を通じた知識・教養の獲得には一層の工夫を要する。 ・生徒は特別活動・部活動に主体的に参加し、満足度も高い。 ・今後、少人数の部活動が増えることも見込まれ、工夫した活動が求められる。 ・時代の要請を踏まえた部活動の在り方を引き続き検討するとともに、部活動ガイドラインの遵守を徹底する。 ・行事や部活動を通じた人間関係づくりは、概ね達成できた。 ・体調不良による欠席や不注意による遅刻も見られる。基本的生活習慣の確立を継続指導する。 ・挨拶について継続して指導していきたい。 ・交通ルール遵守やマナー向上に向けた注意喚起を日常的に行った。 ・共生・共育委員会を通して、富士東分校との共生・共育の在り方を模索した。 ・健康状態に対する意識向上のため、朝の健康観察について担任からの声掛けなどで徹底していく。 ・1、2年生へのハイパーQ U心理テストの実施、1年生の3分間カウンセリングや適時の教育相談を通じて、個に応じた指導の充実を図った。
	・読書週間に視野を広げたり知識を得たりできた生徒 / 70%以上	54.9% 73.1% 58.5%	B	
	・主体的・積極的に学校行事や部活動に参加する生徒を育成している / [育]90%以上	93.2% 92.5% 87.6% 保92.4%教86.1%	B	
	・生徒の東雲祭、球技大会への満足度 / 90%以上	文化の部94.7% 体育の部100% 球技大会95.1%	A	
	・生徒の部活動への満足度 / 各学期80%以上	1 学期 96.5% 2 学期 97.6%	A	
	・部活動ガイドラインの遵守 / 100%	91.2%	B	
	・学校行事や部活動等を通じた良好な人間関係づくりを指導・支援している / [育]90%以上	93.8% 89.1% 85.2% 保91.6%教88.9%	B	
	・基本的生活習慣を確立するための指導が行われている / [育]90%以上	87.7% 89.1% 79.6% 保89.9%教80.6%	B	
	・挨拶運動 / 月1回	月1回の挨拶運動を実施した。	A	
	・生徒の安全確保、交通事故防止など、安全指導に努めている / [育]90%以上	95.7% 93.7% 86.1% 保93.1%教94.4%	A	
	・分校と合同の防災訓練、参加体験的に学ぶ防災講座を実施	グラウンドへの避難訓練と防災講座を分校と合同で実施した。	A	
	・朝の健康観察を通して、自己の健康管理に努めている生徒 / 90%	63.6% 75.5% 63.4%	C	
	・共生・共育委員会を核とした富士東分校との交流及び日常的な連携	交通安全教室、東雲祭、芸術鑑賞会などの行事に加え、ランチ会、SNS投稿などを実施した。	A	
	オ 新しい時代の学びを支える教職員の資質・能力の向上を図り、カリキュラム・マネジメントを推進する。	・G P (グレートイノベーション・ポリシー) ・C P (カリキュラム・ポリシー) の実現状況 / [育] 生徒・保護者・教職員それぞれ80%以上	90.7% 91.3% 89.5% 保90.3%教84.1%	
・少人数ユニットを活用した一人一公開授業と相互参観実施		公開授業期間や研修に合わせて計画したが、相互参観があまりできなかった。	C	
・学習評価、ICT活用に係る全体研修実施		年間3回実施した。	B	
・県外視察、研究会等に派遣し、報告会により全教員にフィードバック		1月末の段階で実施できていない。	D	
・夏季休業中における「大学入試研究実施を通じた自己研鑽 / 一人1大学		夏季休業中に一人1大学の入試問題研究を行い、生徒に提供した。	A	
・不祥事根絶セルフチェック / 遵守率90%以上		第1回99.3% 第2回99.2%	A	

取組目標	成果目標 (〔肯〕..学校評価アンケートにおける肯定的評価の割合)	達成状況 (丸数字は学年)	評価	成果と課題
力 校内外の環境整備に努めるとともに、学校の取組を社会(保護者・地域)に開く。	・本校の施設・設備は整備されており、良好な教育環境が保たれている / [肯]80%以上	83.4% 86.9% 76.7% 保78.1%教72.2%	B	<ul style="list-style-type: none"> 小破修繕は随時対応し、大規模改修を実施するために予算要求しながら環境整備に努める。 教育環境の美化、施設・設備の維持管理に努めた。生徒の取組状況も良好であった。 現状把握と速やかな対応のため、今後も定期的な点検を実施する。 Cラーニングの活用による校務の効率化が実現しており、自己採点システムも利用が拡大した。 ホームページのリニューアルを実施した。SNSを含め、引き続き広報活動を充実させ、学校の魅力発信に努める。
	・校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる / [肯] 80%以上	89.0% 90.8% 84.7% 保89.0%教83.3%	A	
	・専門委員による環境衛生活動及び点検 / 週1回	水質検査及び手洗い場の点検を毎日実施した。	B	
	・清掃・安全点検 / 月1回	月1回以上の巡視を行い、安全点検を実施した。	A	
	・Cラーニング活用促進、自動採点システムの本格導入	Cラーニングを掲示板、連絡・相談、健康観察、出席管理、アンケート等に活用。自動採点システムの利用も拡大した。	A	
	・ホームページ、公式SNSによる発信 / 日平均1回以上	HPをCMSに移行し、リニューアルした。SNSは、目標には達しなかったが、生徒の日常を発信した (Instagram279回投稿)。	B	
	・日々の教育活動などを積極的に広報・発信している / [肯]90%以上	93.9% 94.9% 94.1% 保92.7%教88.9%	B	

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標 (〔肯〕..学校評価アンケートにおける肯定的評価の割合)	担当部署
ア 自己の在り方生き方を主体的に深く考え、その実現に向けて粘り強く行動する生徒を育てる。	生徒の自主性、主体性を促す家庭学習指導の改善(宿題の質・量の改善) 「学びの基礎診断」(スタディーサポート・実力テスト)実施による学力把握と指導改善 生徒の進路希望実現のための、個に応じた学習支援や進路支援体制の充実 自ら道を切り拓くための基礎学力の習得 進路閲覧室の充実を通じた適切な進路情報発信 PTA職業講話、卒業生進路講話等、キャリア教育の視点からの生き方教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校で課された共通の課題に加え、予習・復習を含めた自主的な学習に工夫して取り組んでいる生徒 / 70%以上 1週間の家庭学習時間の平均 / 1年14h 2年16h 3年32h 駿台atama+の効果的な活用 / 1、2学年 スタディーサポート結果分析会 / 全学年で実施 生徒の進路希望実現のための、個に応じた学習支援や進路支援体制が整っている / [肯]80%以上 大学入学共通テスト受験率 / 100% (3年生) 進路閲覧室の充実を通して、必要な進路情報を適切に発信している / [肯]90%以上 外部検定に挑戦する生徒 / 50%以上 PTA職業講話、卒業生進路講話が有意義だったと答える生徒 / それぞれ80%以上 	進路教務総務学年部
イ 自ら問いを立て、多様な人々と協働しながら解決策を導き出す探究活動を充実させる。	静岡県立大学や企業との連携・協働による探究学習の充実 探究的思考力を身に付けるための学びの土台づくり 自分を取り巻く課題設定の工夫・選定、自らの探究課題に応じた外部連携や、生徒自身による積極的な発信の支援 大学や企業の連携による今日的探究内容の検討 3年間を見通した系統的・螺旋的な探究プログラムの改善・充実	<ul style="list-style-type: none"> 学生サポート満足度 / 80%以上 自身が解決したい課題を明確にできた生徒 / 90%以上 探究活動に前向きに取り組んだと答える生徒 / 70%以上生徒 外部との接点(探究活動における調査や、成果の発表など)をもった生徒 / 80% 年度末までに令和8年度入学生版「しのめ探究」3年計画を作成 	しのめ探究委員会

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標（〔育〕…学校評価アンケートにおける肯定的評価の割合）	担当部署
ウ	各教科における指導と評価の一体的な充実を通して、質の高い学力を育む。	<p>各教科・科目における探究的・課題解決的な学びの充実 指導と評価の一体化を目指した授業改善サイクルの構築 「主体的・対話的で深い学び」の実現のための授業改善 「思考力」「主体性」「コミュニケーション能力」を育む授業実践 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に資するICT活用とDX人材の育成 特色化に資する教育課程検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基づいた「指導と評価の計画」の見直しをもっている教員 / 100% ・単元ごとに「問い」の設定と「成果」の想定をした教員 / いずれも90%以上 ・毎時または単元の始めに、課題（問い）の見直しをもっている生徒 / 80%以上 ・毎時または単元の終わりに、自らの学習状況を把握している生徒 / 80%以上 ・毎時または単元の終わりに、その後の学習への目標や課題を意識している生徒 / 80%以上 ・授業で自らの「思考力」「主体性」「コミュニケーション能力」を使う場面があると答える生徒 / 100% ・ICT活用や協働的な学び等を通じた、魅力ある授業を展開している / [育]80%以上 ・Google Classroom、ロイロノート、Cラーニングを授業で活用した教員 / 70%以上 ・1人1台タブレットを活用したと答える生徒 / 80%以上 ・11月までにR8乙変更の大筋を決定 	教務 各教科 学年部
エ	学習・特別活動・部活動の両立を通して、知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育成し、人格の完成を目指す。	<p>読書週間の充実と図書館利用促進 学校行事の充実 ガイドラインに即した各部活動の充実 基本的生活習慣の確立 日常的な挨拶の励行 交通安全指導による交通ルールとマナー遵守 防災教育の充実による防災・減災意識の育成 健康教育の充実による健康保持増進意識の向上 共生・共育の推進 自他の人権を大切にす態度や行動力の育成 心の居場所づくりを目指した生徒と教職員の信頼関係の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の充実、読書週間の設定など、読書をする環境が整っている / [育] 80%以上 ・読書週間に視野を広げたり知識を得たりできた生徒 / 70%以上 ・主体的・積極的に学校行事や部活動に参加する生徒を育成している / [育]90%以上 ・生徒の東雲祭、球技大会への満足度 / 90%以上 ・生徒の部活動への満足度 / 各学期80%以上 ・部活動ガイドラインの遵守 / 100% ・学校行事や部活動等を通じた良好な人間関係づくりを指導・支援している / [育]90%以上 ・基本的生活習慣を確立するための指導が行われている / [育]90%以上 ・挨拶運動 / 月1回 ・生徒の安全確保、交通事故防止など、安全指導に努めている / [育]90%以上 ・分校と合同の防災訓練、参加体験的に学ぶ防災講座を実施 ・朝の健康観察を通して、自己の健康管理に努めている生徒 / 90%以上 ・共生・共育委員会を核とした富士東分校との交流及び日常的な連携 ・生徒一人ひとりの人権尊重と、多様な背景を持つ生徒の理解・支援に努めている / [育]90%以上 ・生徒の心の健康についてカウンセリングなどの適切な対応を取っている / [育]90%以上 ・信頼でき、大切なことを相談できる教員がいる / [育]90%以上 	教務 生徒 総務 学年部 各部活動
オ	新しい時代の学びを支える教職員の資質・能力の向上を図り、カリキュラム・マネジメントを推進する。	<p>スクール・ポリシーの実現 少人数ユニットによる公開授業と相互参観の推進 学習評価の改善・充実、及びICTを活用した学習指導の充実 に資する研修 県内外の先進的知見の情報収集 進路情報の収集蓄積と研修による進路指導力の向上 教職員のコンプライアンス意識の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GP・CPの実現状況 / [育]生徒・保護者・教職員それぞれ80%以上 ・少人数ユニットを活用した一人一公開授業と相互参観実施 「ウ」の授業改善に反映 ・学習評価、ICT、生成AI活用に係る全体研修実施 「ウ」の授業改善に反映 ・県外視察、研究会等に派遣し、報告会により全教員にフィードバック 教育課程変更や教育活動の見直しに反映 ・夏季休業中における「大学入試研究」実施を通じた自己研鑽 / 一人1大学 ・不祥事根絶セルフチェック / 遵守率90%以上 	管理職 教務 進路 各教科

取組目標		達成方法（取組手段）	成果目標（[青]…学校評価アンケートにおける肯定的評価の割合）	担当部署
力	<p>校内外の環境整備に努めるとともに、学校の取組を社会（保護者・地域）に開く。</p>	<p>施設・設備の維持管理 学校内外の美化・清掃活動の徹底 定期的な安全点検の実施 組織的な「働き方改革」に向けた校務の効率化・合理化促進 中学生向けの情報発信の工夫 保護者・地域に向けた情報発信の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の施設・設備は整備されており、良好な教育環境が保たれている / [青]80%以上 ・校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる / [青]80%以上 ・専門委員による環境衛生活動及び点検 / 週1回 ・清掃・安全点検 / 月1回 ・Ｃラーニング活用促進、自動採点システムの本格導入 ・ホームページ、公式SNSによる発信 / 日平均1回以上 ・日々の教育活動などを積極的に広報・発信している / [青]90%以上 	<p>管理職 生徒 事務部 学年部</p>

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p>総合的な探究の時間の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX人材育成のための情報活用能力の育成 ・DX推進企業との連携講演、DX技術の体験、企業見学 ・静岡県立大学との連携・協働講師による講義、グループ探究における指導・助言、学生による支援 ・アカデミックな学びの土台づくり大学における課題解決な深い学びを意識した、文献の精査、論文抄読、探究の手法取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・NECプラットフォームズ株式会社と連携し、工場見学を含めて年間3回のDXセミナーを実施した。 ・総合的な探究の時間において、静岡県立大学との連携によって、大学教員及び学生からの質の高い助言が受けられ、探究学習がより深まった。 ・令和7年度以降、DX人材の育成をさらに推進するとともに、その体制を持続する基盤をつくることが課題である。
	<p>主体的な学習意欲の喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の充実資する効果的なICT活用 ・生徒が主体的に学習に取り組むための手立て(atama+、しののめplus)の充実 ・自習機能(東雲学習コーナー)の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の学びを支援するatama+を年間6回実施するとともに、主体的な学びを促すしののめplusの取組によって、積極的な利用者については、良い成果があった。 ・自ら主体的に学ぶ姿勢の育成について、さらなる策を講じる必要がある。
	<p>外部との連携と人材活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動外部指導者の活用 ・小論文指導における外部指導者の活用 ・企業との連携による講演会、企業見学会の実施 ・県立大学教授による講演の実施 ・PTA主催職業講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域等の人材を有効に活用し、部活動等の指導を充実できた。 ・PTA主催職業講話は、キャリア教育の視点からも有意義な取組であった。 ・本務教職員の負担軽減の視点からも、外部人材活用を有効に機能させ、「働き方改革」につなげていきたい。
令和7年度	<p>総合的な探究の時間の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX人材育成のための企業との連携生成AI講座、DX技術の体験、企業見学 ・静岡県立大学との連携・協働学生アドバイザーによる講演、探究活動における指導・助言 ・アカデミックな学びの土台づくり大学における課題解決な深い学びを意識した、論文抄読、探究の手法取得 	
	<p>生徒の主体的な活動や学習意欲の喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や中学生への学校説明等における自治会を中心とした生徒主体の活動 ・授業における効果的なICT活用 ・生徒が主体的に学習に取り組むための手立て(atama+、しののめplus)の充実 ・自習機能(東雲学習コーナー)の充実 	
	<p>外部との連携と人材活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒台湾派遣事業の立上げのための現地との連携 ・部活動外部指導者の活用 ・小論文指導における外部指導者の活用 ・企業との連携による講演会、企業見学会の実施 ・県立大学教授による講演の実施 ・PTA主催職業講話の実施 	

5 教職員について

(1)異動状況

(単位：人)

職名 区分	本 務 職 員									臨時・会計年度任用職員					合 計
	教育職員				行政職員				本務計	教諭	非常勤講師	非常勤労務職員	部活動指導員	臨時・会計年度計	
	教頭	教諭	養護教諭	小計	事務長	主査	主任	小計							
転出者	1	3	1	5	1	1		2	7						7
退職者		3		3					3	1	3	1	1	6	9
再任用 (退職)															0
転入者	1	2	1	4	1		1	2	6						6
新任者		1		1					1		3	1	1	5	6
再任用 (新任)		2		2					2						2
差引増減	0	-1	0	-1	0	-1	1	0	-1	-1	0	0	0	-1	-2

(2) 現員数 (令和7年8月31日現在)

(単位：人)

職名 区分	本 務 職 員											臨時・会計年度任用職員							合 計		
	教 育 職 員						行 政 職 員					本務計	実習助手	非常勤講師	非常勤労務職員	スクールカウンセラ	部活動指導員	ALT		臨時・会計年度計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任	主事										小計
男	1	1		21			23		1			1	24		2	3	1	3		9	33
女			1	7	1	1	10	1		1	1	3	13	1	6		1		1	9	22
計	1	1	1	28	1	1	33	1	1	1	1	4	37	1	8	3	2	3	1	18	55

再任用教諭：フルタイム2人、ハーフタイム1人

(3) 健康管理について

教職員の心身の健康管理について常に留意し、以下のような措置を講じている。

- ア 健康管理医による継続的な指導助言、疾病の早期発見、早期治療
- イ 健康の保持増進のための情報提供
- ウ 職員衛生委員会の開催(月1回)、健康管理医による職場巡視(年6回)及び職場環境や職員の健康管理等についての検討
- エ メンタルヘルスケア対策としてストレスチェックの実施
- オ インフルエンザ蔓延防止のため、希望職員を対象としたワクチン予防接種を校内で実施
- カ 職員健康増進やメンタルヘルスに関する研修会の実施(健康支援づくり支援事業の活用)
- キ 教職員の多忙化解消、ワークライフバランスの推進
- ク 職場における感染症予防及び職員の健康管理の徹底
- ケ 過重労働による健康障害を防止するため、長時間勤務者に対する適切な指導の実施(健康管理医への情報提供他)

(4) 教職員の研修について

<令和6年度>

研修の目的	研修内容及び成果	課題
<p>授業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「指導と評価の一体化」への理解を深め、授業改善と学習評価を一体的に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 学習評価について確認した。 ・ 5月 中間テストまでの「指導と評価」の振り返りと、期末テストまでの具体的な「指導と評価」の計画を教科ごとに実施した。 ・ 7月 1学期の「指導と評価」の振り返りを教科ごとに実施した。 ・ 8月 職員会議で、相互授業参観におけるねらいの共有とグループごとにテーマ決め、参観の計画を実施した。 ・ 9月 定期訪問時に、授業改善のための授業参観、研究協議を実施した ・ 10月 中間テストまでの「指導と評価」の振り返りと、期末テストまでの具体的な「指導と評価」の計画を教科ごとに実施した。 ・ 11月 研修小グループにおける相互授業参観と研究協議を実施した。 ・ 12月 2学期の「指導と評価」の振り返りを教科ごとに実施した。 ・ 1月 研修小グループにおける相互授業参観と研究協議を実施した。 ・ 2月 研修小グループにおける相互授業参観と研究協議を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数ユニットによる相互授業参観において事前検討、授業実践・観察を行うことができていないが、事後検討に十分な時間を取ることができていない。 ・ 職員室内で互いに授業の情報や仕掛けなどを共有、検討することが日常的に行われるようになることが理想である。
<p>進路指導力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科指導力、進路指導力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学入試問題や入試情報の分析 各自が大学入試問題を解き研修報告書を作成 ・ 進路指導力向上のためのセミナーに参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学入試のトレンドに対応した教職員の継続的な学びが必要である。
<p>コンプライアンス研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不祥事根絶のため、常にコンプライアンスの意識付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の職員会議を有効に活用した短時間の研修を積み重ね、意識を継続的に啓発していく。 ・ 情報セキュリティに関する研修を実施する。 ・ 朝の打合せを活用した情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回数を重ねるほどマンネリと感じやすいため、研修に対する意識を高める必要がある。

<令和7年度>

研修の目的	研修内容及び成果	課 題
<p>授業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「指導と評価の一体化」への理解を深め、授業改善と学習評価を一体的に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月 生成A I活用研修：教材・資料作成・授業準備への応用 ・ 6月 第1回 小グループ授業参観（テーマ：評価の観点を意識した授業） ・ 7月 1学期の指導と評価の振り返り ・ 8月 生成A I活用ワークショップ ・ 9月 授業参観、研究協議、ICT活用についての研修 ・ 10月 第2回 小グループ授業参観（テーマ：生成A I、ICTの活用） ・ 11月 生成A I、ICTを取り入れた授業実践の事例交換 ・ 12月 2学期の指導と評価の振り返り ・ 1月 第3回 小グループ授業参観（テーマ：評価を学びに還元する授業） ・ 2月 第3回 小グループ授業参観（テーマ：評価を学びに還元する授業） ・ 3月 年間の指導と評価の振り返り、次年度の授業・評価計画・4月 校内研修（学習評価） 	
<p>進路指導力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科指導力、進路指導力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学入試問題や入試情報の分析 各自が大学入試問題を解き研修報告書を作成 ・ 進路指導力向上のためのセミナーに参加 	
<p>コンプライアンス研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不祥事根絶のため、常にコンプライアンスの意識付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の職員会議を有効に活用した短時間の研修を積み重ね、コンプライアンスの意識を継続的に啓発していく。 ・ 情報セキュリティに関する研修を実施する。 ・ 朝の打合せを活用した情報提供を行う。 	

6 防災対策について

<令和6年度>

指導目標	取組内容及び成果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 南海トラフ地震災害に備えた意識を高く持つと共に東日本大震災の教訓を踏まえ、きめ細かい対策を考える。 ・ 生徒と職員が訓練や防災講座を通じて、自らの役割を認識し、安全を確保するための態度を養う。 ・ 教職員と生徒が減災についての意識をより高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月11日、富士東分校と合同で地震発生を想定した避難訓練を実施し、実際の避難経路を確認した。 ・ 7月17日、防災教育推進のための連絡会議を開催。市、地域住民、学校（本校、富士東分校）の三者間で避難所運営等について共通理解を図った。 ・ 9月4日、富士東分校と合同で、防災講座を開催予定。 ・ 地域防災訓練への参加を促し、地域のために何ができるか考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練は、マンネリ化しないように危機感を持って取り組み、避難後の行動についても考えさせたい。 ・ 防災計画については機会ある毎に教職員で再認識し、危機意識を保持することが大切であるので、情報共有をしている。 ・ 生徒及び職員の防災研修の充実を図る。

・年間計画

実施	内 容	目 的
4月	避難訓練 (4月11日)	・速やかな避難及び避難経路、H R 別避難場所、点呼方法等、発災時の対応を理解し身につける。
7月	防災教育推進のための連絡会議 (7月17日)	・避難所運営についての協議を通して、行政・地域との連携を強める。
9月	富士市総合防災訓練における避難所施設確認 (9月1日)	・富士市防災倉庫内の備蓄品等の確認をする。
	地震防災訓練 (9月4日)	・全校生徒及び富士東分校生徒を対象に「防災学習」を行う。
12月	地域防災訓練への参加	・地域防災訓練への参加を通して、地域の防災要員としての自覚を高める。

<令和7年度>

指導目標	取組内容及び成果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震災害に備えた意識を高く持つと共に東日本大震災の教訓を踏まえ、きめ細かい対策を考える。 ・生徒と職員が訓練や防災講座を通じて、自らの役割を認識し、安全を確保するための態度を養う。 ・教職員と生徒が減災についての意識をより高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月11日、富士東分校と合同で地震発生を想定した避難訓練を実施し、実際の避難経路を確認した。 ・7月16日、防災教育推進のための連絡会議を開催。市、地域住民、学校(本校、富士東分校)の三者間で避難所運営等について共通理解を図った。 ・9月3日、富士市役所防災危機管理課より「防災行政の仕事と日頃の備え」について学んだ。 ・地域防災訓練への参加を促し、地域のために何ができるか考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は、富士東分校と連携して取り組み、避難後の行動についても考えさせたい。 ・防災計画については機会ある毎に教職員で再認識し、危機意識を保持することが大切であるので、情報共有をしている。 ・生徒及び職員の防災研修の充実を図る。

・年間計画

実施	内 容	目 的
4月	避難訓練 (4月11日)	・速やかな避難及び避難経路、H R 別避難場所、点呼方法等、発災時の対応を理解し身につける。
7月	防災教育推進のための連絡会議 (7月16日)	・避難所運営についての協議を通して、行政・地域との連携を強める。
9月	富士市総合防災訓練における避難所施設確認 (9月1日)	・富士市防災倉庫内の備蓄品等の確認をする。
	地震防災訓練 (9月3日)	・全校生徒及び富士東分校生徒を対象に「防災学習」を行う。
12月	地域防災訓練への参加	・地域防災訓練への参加を通して、地域の防災要員としての自覚を高める。

7 学校開放について

施設開放委員会に対して申請のあった、バスケットボール等の愛好団体を利用団体として登録し、運動場及び体育館を開放した。

<令和6年度>

名 称	期 間	日数(日)	人員(延人数)	施 設	利用者負担金(円)
バスケットボール1	6. 4~ 7. 3	14	175	体育館	2,238
体操	6. 4~ 7. 3	28	271	体育館	3,408
剣道	6. 4~ 7. 3	36	240	体育館	3,137
サッカー	6. 4~ 7. 3	5	200	体育館	529
バスケットボール2	6. 4~ 7. 3	39	780	体育館	5,777
計		122	1,666		15,089

*利用者負担金は電気料

<令和7年度>

名 称	期 間	日数(日)	人員(延人数)	施 設	利用者負担金(円)
バスケットボール1	7. 4~ 7. 8	8	94	体育館	544
体操	7. 4~ 7. 8	5	43	体育館	534
剣道	7. 4~ 7. 8	12	80	体育館	699
サッカー	7. 4~ 7. 8	1	20	体育館	90
バスケットボール2	7. 4~ 7. 8	15	300	体育館	1,102
バスケットボール3	7. 6~ 7. 8	9	130	体育館	0
計		50	667		2,969

*利用者負担金は電気料

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条 第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条） いじめ防止対策推進法（第8条） 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県立学校管理規則 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 静岡県手数料徴収条例 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則

学校施設の概要

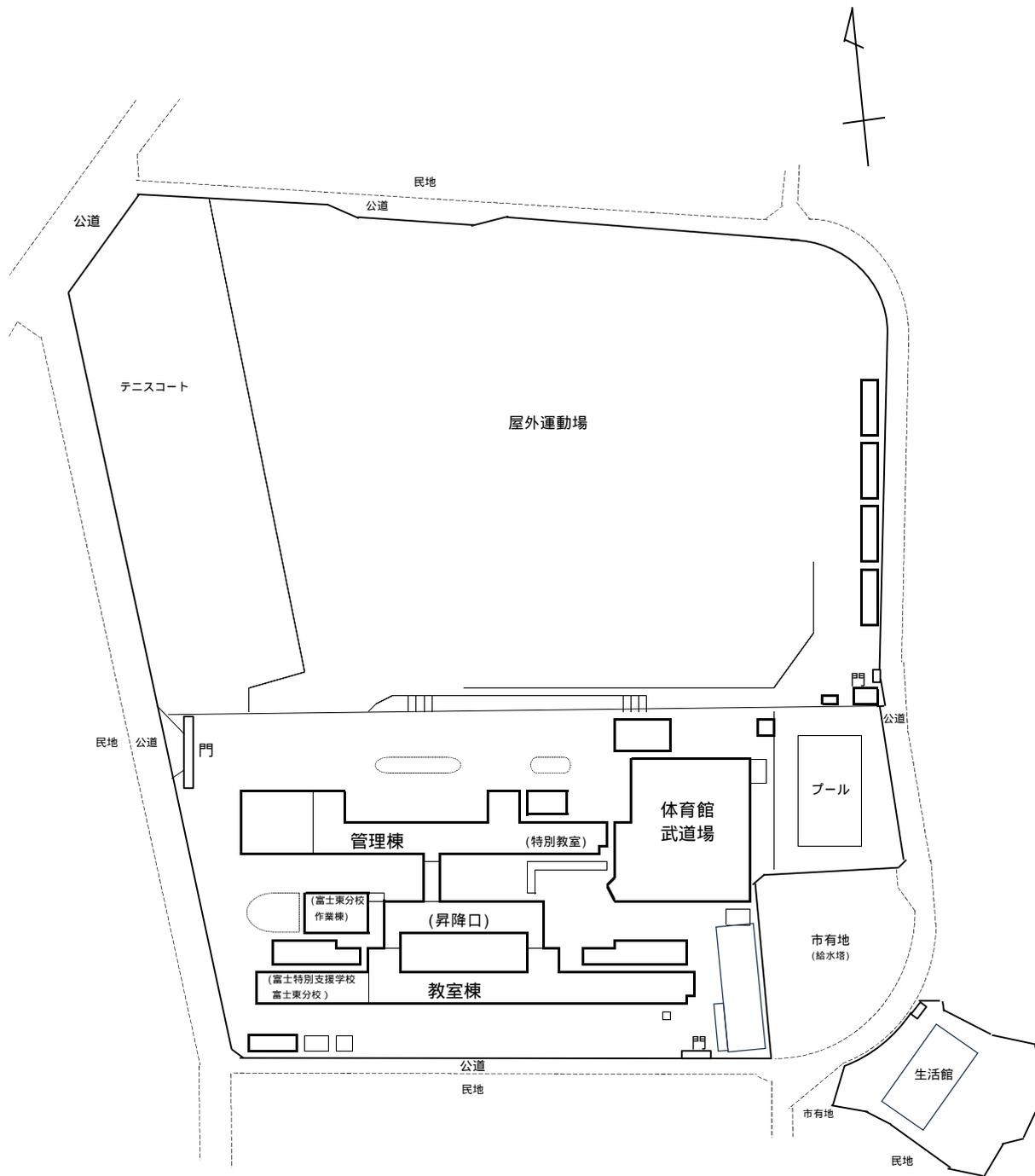
1 面積及び所有区分

(令和7年8月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	40,139.82	40,139.82					
内 訳	校 舎 敷 地	14,717.94	14,717.94				
	運 動 場 敷 地	23,300.00	23,300.00				
	そ の 他 の 敷 地	2,121.88	2,121.88				
校 舎	建 2,961.92	2,961.92					
	延 7,925.71	7,925.71					
体 育 館	建 666.90	81.00			585.90		
	延 1,934.63	1,327.13			607.50		
武 道 場	建 585.90	585.90					
	延 585.90	585.90					
そ の 他 の 建 物	建 1,104.80	1,104.80					
	延 1,424.80	1,424.80					
生 活 館	建 463.55				463.55		
	延 765.90				765.90		
プ ー ル	942.31	942.31					25mプール・9コース プール400m ² プールサイド490.46m ² 洗体槽51.85m ²
職 員 住 宅	12戸	12戸					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	40,139.82m ²	7,925.71m ²	23,300.00m ²
県平均	45,574.48m ²	9,782.41m ²	22,506.84m ²

在 籍 生 徒 調

(令和 7 年 8 月 31 日 現在)

学年	学科別 区 分		普 通 科				
			定員	男子	女子	計	
1 年	入 学 者		160	97	67	164	
		増 加					
		減 少					
	現 在				97	67	164
2 年 時 当 初				82	84	166	
2 年	入 学 者		160	83	85	168	
		増 加					
		減 少					
	2 年 時 当 初				1	1	2
		増 加					
		減 少					
現 在				82	84	166	
3 年 時 当 初			93	101	194		
3 年	入 学 者		200	95	103	198	
		増 加					
		減 少					
	2 年 時 当 初				2	2	4
		増 加					
		減 少					
	3 年 時 当 初				93	100	193
		増 加					
減 少							
現 在			93	98	191		
増 加				1	1		
減 少				2	2		
現 在			93	98	191		
合 計				272	249	521	

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		200	200	200	160	160
募集者数 (B)		200	200	200	160	160
志願者数	男	113	118	98	102	99
	女	100	123	103	91	68
	計 (C)	213	241	201	193	167
受検者数	男	111	112	96	101	99
	女	100	121	103	91	68
	計 (D)	211	233	199	192	167
合格者数	男	109	99	96	83	97
	女	96	112	103	85	67
	計 (E)	205	211	199	168	164
志願倍率 (C)/(B)		1.07	1.21	1.01	1.21	1.04
受検倍率 (D)/(B)		1.06	1.17	1.00	1.20	1.04
入学者数	男	109	99	95	83	97
	女	96	112	103	85	67
	計 (F)	205	211	198	168	164
充足率 (F)/(A)		1.03	1.06	0.99	1.05	1.03

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別		普通科		
年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒業生徒数		211	201	207
内 進 学 者 の 内 訳	(進学志願者)	(210)	(198)	(206)
	大学・短大	188	177	195
	専・各種学校等	14	12	6
	小 計	202	189	201
	就職者	0	2	0
	自営者	0	0	0
	進学準備者	9	9	5
	その他	0	1	1
合 計		211	201	207

2 求人状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	0	2	0
求 人 数	56	84	47
求人倍率	0	42	0

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別		全日制普通科
卒 業 生 徒 数		207
資 格 の 取 得 状 況 (種類別)	英検 2級	45
	英検準2級	50
合 計		95

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年8月31日現在) (単位:人)

市町名	富士市	富士宮市	沼津市	静岡市	その他	合計
生徒数	486	26	1	1	7	521
構成比%	93.3%	5.0%	0.2%	0.2%	1.3%	100%

(2) 通学方法 (令和7年8月31日現在) (単位:人)

区分	徒歩	自転車	バス	電車	その他	合計
生徒数	26	436	36	4	19	521
構成比%	5.0%	83.7%	6.9%	0.8%	3.6%	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年8月31日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		15	7		22
男子	1年	78	19	0	97
	2年	68	14	0	82
	3年	70	19	4	93
	計(A)	216	52	4	272
	構成比	79.4%	19.1%	1.5%	100%
女子	1年	34	33	0	67
	2年	44	40	0	84
	3年	29	66	3	98
	計(B)	107	139	3	249
	構成比	43.0%	55.8%	1.2%	100%
合計	(A+B)	323	191	7	521
	構成比	62.0%	36.7%	1.3%	100%

授業料収納状況調

(令和6年度)

期別	月別	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収入 未済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率			
一期	7	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額 = 4,920,300円 (165人 × @9,900 × 3月 1人 × @9,900 × 2月) B. 収納権利増減()額 = 0円 C. 収納必要額 A (±) B = 4,920,300円
	8											653,400	0	
	計	58	1,722,600	57	1,683,000	51	1,514,700	166	4,920,300	4,266,900	86.7	653,400	0	
二期	10	61	3,019,500	49	2,425,500	53	2,623,500	163	8,068,500	7,573,500	93.9		495,000	A. 期首収納権利発生額 = 8,068,500円 (163人 × @9,900 × 5月) B. 収納権利増減()額 = 49,500円 内訳 11月1日: 2年: 就学支援金認定 1 1人 × @9,900 × 5月 = 49,500円 C. 収納必要額 A (±) B = 8,019,000円
	11			1	49,500					49,500		495,000	0	
	計	61	3,019,500	48	2,376,000	53	2,623,500	162	8,019,000	7,524,000	93.8	495,000	0	
三期	1	61	2,415,600	48	1,900,800	53	2,098,800	162	6,415,200	6,098,400	95.1		316,800	A. 期首収納権利発生額 = 6,415,200円 (162人 × @9,900 × 4月) B. 収納権利増減()額 = 0円 C. 収納必要額 A (±) B = 6,415,200円
	2											316,800	0	
	計	61	2,415,600	48	1,900,800	53	2,098,800	162	6,415,200	6,098,400	95.1	316,800	0	
合計		180	7,157,700	153	5,959,800	157	6,237,000	490	19,354,500	17,889,300	92.4	1,465,200	0	D. 収納必要額 = 19,354,500円

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

期別	月別	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収入 未済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率			
一期	7	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額 = 0円 B. 収納権利増減()額 = 0円 C. 収納必要額 A (±) B = 0円
	計	0	0	0	0	0	0	0	0					

□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度 (令和 7 年 8 月 31 日 現在)
	件 数	件 数
入学検定料	164	0

□□□□□

預 金 調

(令和 7 年 8 月 31 日 現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
スルガ銀行 富士吉原支店	無利息型 普通預金	983293	静岡県立富士東高等学校 資金前渡者 校長 朝倉 徹	0	給与
スルガ銀行 富士吉原支店	無利息型 普通預金	391139	自振口 富士東高等学校 資金前渡者 朝倉 徹	0	光熱水費 社会保険料
残 高 合 計				0	

□□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和 7 年 8 月 31 日 現在)

(単位：枚、円)

区 分	種 類	6 年 度						7 年 度						差引現在高	摘 要	
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出				
		枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	
プリペイドカード	iTunes カード 1,500円 券	1	1,500	0	0	0	0	1	1,500	0	0	0	0	1	1,500	アプリ ダウン ロード 用
計			1,500		0		0		1,500		0		0		1,500	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					5年度	6年度	左のうち、 5年度からの 繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		3,964,400	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		714,098	
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		23,100	
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費		0	
計					609,774	4,701,598	0
(14) 工事 請負費							
計					473,000	0	0
(16) 公有財産 購入費							
計					0	0	0
(17) 備品 購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		529,210	
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費		8,526,628	
計					539,385	9,055,838	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		48,183,500	
計					53,117,800	48,183,500	0
(21) 補償、 補填及び 賠償金							
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年8月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	101,200	
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	12,650	
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費	0	
計					113,850	0
(14) 工事 請負費						
計					0	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品 購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費	0	
計					0	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	10,890,400	
計					10,890,400	0
(21) 補償、 補填及び 賠償金						
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
1	(事務関係) 産業廃棄物 処理委託	株式会社 グリーン コントロール サービス	円 90,200	円 90,200	円 0	円 90,200	随契	6. 4. 1 } 6.10.31	6.11.29	円 90,200	混合廃棄物 収集運搬 処分業務	随契1号 (少額)
2	静岡県立富士 東高等学校外 校プール浄化 装置保守点検 業務委託	有限会社 石川メンテナンス	207,900	207,900	0	207,900	随契	6. 4.12 } 6.10.31	6.11.21	207,900	プール 浄化装置 保守点検 業務	随契1号 (少額) 吉原高校 吉原工業高校 富士高校 富士宮東高校 富士宮北高校 富士宮西高校 富岳館高校 富士特別支援学校
3	産業廃棄物 処理委託	ジャパンウェイ スト株式会社	95,700	95,700	0	95,700	随契	6. 6.13 } 7. 1.31	6. 8. 8	95,700	理科 実験薬品 処分業務	随契1号 (少額)
4	富士富士宮地 区県立学校建 築基準法第12 条に基づく定期 点検業務委託	株式会社 平柳建築設計 事務所	4,389,000	3,263,700	0	3,263,700	一般	6. 8.15 } 7. 2.28	7. 3.24	3,263,700	建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務	吉原高校 吉原工業高校 富士高校 富士宮東高校 富士宮北高校 富士宮西高校 富岳館高校 富士特別支援学校 富士特別支援学校 富士宮分校
5	静岡県立富士 東高等学校ガス ヒートポンプエ アコン設備点検 業務委託	静岡ガス・エン 지니어リング株 式会社	140,800	140,800	0	140,800	随契	6. 9. 9 } 6.12.27	6.11.14	140,800	GHP点検兼 フロン点検 業務	随契1号 (少額)
6	産業廃棄物 処理委託	株式会社 グリーン コントロール サービス	90,200	90,200	0	90,200	随契	6.10. 2 } 7. 2.28	7. 3.21	90,200	混合廃棄物 収集運搬 処分業務	随契1号 (少額)
7	静岡県立富士 東高等学校、建 築基準法第12 条に基づく外壁 全面打診調査 業務委託	株式会社 平柳建築設計 事務所	1,320,000	700,700	0	700,700	一般	6.11.21 } 7. 3.25	7. 4.11	700,700	外壁打診 調査業務	
8	産業廃棄物 処理委託	株式会社 グリーン コントロール サービス	90,200	90,200	0	90,200	随契	7. 2.13 } 7. 3.31	7. 4.16	90,200	混合廃棄物 収集運搬 処分業務	随契1号 (少額)
9	産業廃棄物 処理委託	株式会社 ホクセイ	22,198	22,198	0	22,198	随契	7. 3.10 } 7. 3.31	7. 4.10	22,198	蛍光灯ほか 収集運搬 処分業務	随契1号 (少額)
事務関係 計		9件	6,446,198	4,701,598	0	4,701,598				4,701,598		
合 計		9件	6,446,198	4,701,598	0	4,701,598				4,701,598		

委託料に関する調

(令和6年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
参考 1	静岡県立富士高等学校外9校警備業務委託	セコム株式会社	/	5,808,000		5,808,000	/	元.10.1 } 6. 9.30	/	/	校舎警備管理	富士高校
2	静岡県立吉原工業高等学校外5校自家用電気工作物保安管理業務委託	加藤電気管理事務所 加藤一彦	/	2,572,680		2,572,680	/	6. 4. 1 } 7. 3.31	/	/	自家用電気工作物保安管理	吉原工業高校
3	静岡県立富士宮東高等学校外9校消防用設備等保守点検業務委託	サンコー防災株式会社	/	13,376,000		13,376,000	/	6. 4. 1 } 7. 3.31	/	/	消防用設備及び防火対象物維持管理	富士宮東高校
4	静岡県立吉原高等学校外4校可燃物収集運搬処分業務委託	有限会社東亜美装	/	収集・運搬料 1回21,258円 処分手数料 1kg 15円		収集・運搬料 1回21,258円 処分手数料 1kg 15円	/	6. 4. 5 } 7. 3.28	/	/	可燃物収集運搬処分	吉原高校
5	富士東高等学校教室棟屋上防水修繕工事ほか設計業務委託	株式会社平柳建築設計事務所	/	2,420,000	594,000	3,014,000	/	6. 5.30 } 6. 9.30	/	/	屋上防水修繕工事ほか設計業務委託	富士土木事務所
6	静岡県立富士高等学校外10校警備業務委託	セコム株式会社	/	17,424,000		17,424,000	/	6.10. 1 } 11. 9.30	/	/	校舎警備管理	富士高校
計		6件										

委託料に関する調

(令和7年度)

(令和7年8月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 産業廃棄物処理委託	株式会社 グリーン コントロール サービス	92,400	92,400	0	92,400	随契	7. 4. 4 } 7.11.29			混合廃棄物 収集運搬 処分業務	随契1号 (少額)
2	静岡県立富士東高等学校外8校プール浄化装置保守点検業務委託	有限会社 石川メンテナンス	247,500	227,700	0	227,700	随契	7. 4.15 } 7.10.31	7. 7.18	113,850	プール 浄化装置 保守点検 業務	随契1号 (少額) 吉原高校 吉原工業高校 富士高校 富士宮東高校 富士宮北高校 富士宮西高校 富岳館高校 富士特別支援学校
3	産業廃棄物処理委託	日本産業廃棄物処理株式会社	48,694	48,694	0	48,694	随契	7. 7.29 } 8. 3.27			理科 実験薬品 収集運搬 業務	随契1号 (少額)
4	産業廃棄物処理委託	日曹金属化学株式会社	50,985	50,985	0	50,985	随契	7. 7.29 } 8. 3.27			理科 実験薬品 処分業務	随契1号 (少額)
事務関係計		4件	439,579	419,779	0	419,779				113,850		
1	(工事関係) 静岡県立富士東高等学校有害物質含有調査業務委託	株式会社 エコアップ	256,300	239,800	55,000	184,800	随契	7. 7.15 } 7.10.14			有害物質含 有調査業務 委託	随契1号 (少額)
2	富士東高等学校教職員住宅解体に伴う用地測量業務委託		3,432,000								職員住宅解体 に伴う用地測 量業務	
工事関係計		2件	3,688,300	239,800	55,000	184,800				0		
合計		6件	4,127,879	659,579	55,000	604,579				113,850		
参考												
1	静岡県立富士高等学校外10校警備業務委託	セコム株式会社		17,424,000		17,424,000		6.10. 1 } 11. 9.30			校舎警備 管理	富士高校
2	静岡県立吉原工業高等学校外5校自家用電気工作物保安管理業務委託	加藤電気管理事務所 加藤一彦		2,633,400		2,633,400		7. 4. 1 } 8. 3.31			自家用 電気工作物 保安管理	吉原工業高校
3	静岡県立富士宮東高等学校外9校消防用設備等保守点検業務委託	サンコー防災株式会社		13,246,200	386,100	13,632,300		7. 4. 1 } 8. 3.31			消防用設備 及び防火対 象物維持管 理	富士宮東高校
4	静岡県立吉原高等学校外4校可燃物収集運搬処分業務委託	株式会社静岡総合処理センター				収集・運搬料 1回21,252円 処分手数料 1kg 15円		7. 4. 8 } 8. 3.31			可燃物収集 運搬処分	吉原高校
5	富士東高等学校自転車置場塗装修繕工事ほか設計業務委託	株式会社平柳建築設計事務所		4,653,000	836,000	5,489,000		7. 6. 5 } 7.12.10			自転車置場 塗装修繕工 事設計業務	富士土木事務所
6	富士富士宮地区県立学校建築基準法第12条に基づく定期点検業務委託										建築基準法 12条に基づ く定期点検	吉原工業高校
計		6件										

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会 第76回総会・研究協議会	全国高等学校長協会	開催要項による	第76回総会研究協議会	円 4,000	6. 5. 2
2	甲種防火管理者新規講習	一般財団法人 日本防火・防災協会	開催要項による	甲種防火管理者 新規講習	8,000	6. 6.21
3	東海四県高等学校長生徒 指導連絡協議会	東海四県高等学校長生徒 指導連絡協議会	開催要項による	東海四県高等学 校長生徒指導連 絡協議会	2,000	6. 7. 5
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第1期分 404人分) (6月分 1人分)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業料 に充てる	12,008,700	6. 7.31
5	全国普通科高等学校長会 第74回総会・研究協議会	全国普通科高等学校長会	開催要項による	第74回総会・研究 協議会	6,000	6. 8.30
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第2期分 406人分) (7～9月分 1人分)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業料 に充てる	20,126,700	6. 10.31
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第2期分 1人分)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業料 に充てる	49,500	6. 11. 5
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第2期(11月)分 1人分)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業料 に充てる	9,900	6. 11.28
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第2期分 1人分)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業料 に充てる	49,500	7. 1.21
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第3期分 405人分)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業料 に充てる	16,038,000	7. 1.31
計		10件	/	/	48,183,500	/

負担金支出調

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会 第77回総会・研究協議会	全国高等学校長協会	開催要項による	第77回総会研究協議会	円 4,000	7. 5. 9
2	第42回東海地区学校図書館 研究大会静岡大会	第42回東海地区学校図書 館研究大会運営委員会	開催要項による	第42回東海地区 学校図書館研究 大会静岡大会	3,000	7. 7.11
3	特別管理産業廃棄物管理 責任者講習会	公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興 センター	開催通知による	特別管理産業廃 棄物管理責任者 講習	13,200	7. 7. 14
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第1期分 366人分)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業料 に充てる	10,870,200	7. 7.31
計		4件	/	/	10,890,400	/

建 築 工

令和6年度 該当なし

整理 番号	予 算 科 目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初	契 約 金	
				設計金額	当初額	変更増減額
1	教育管理費	令和7年度[第37-Z0411-01号]富士東高等学校教室棟ほか屋上防水修繕工事	富士市今泉地内	43,791,000	42,900,000	0
		合 計	1 件	43,791,000	42,900,000	0

事 調

(令和7年度)

(令和7年8月31日現在)

額	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
42,900,000	一般	(株)三和工務店	着手 R 7 . 9 . 2 完成 R 8 . 1 . 16	0	管理棟及び教室棟屋上の 防水修繕工事	-	富士土木事務所
42,900,000				0			

公有財産調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 3,002,222	/	千円	/	千円	/	千円 2,969,144	
土地	m ² 40,139.82	2,902,774					m ² 40,139.82	2,902,774	
立木竹	本 135	1,956					本 135	1,956	
建物	m ² 4,733.62 <hr/> 11,263.54	54,108	—		—	26,674	m ² 4,733.62 <hr/> 11,263.54	27,434	
工作物	個 80	43,384				6,404	個 80	36,980	
普通財産	/	78,229	/		/		/	75,494	
土地	m ² 1,160.61	72,621					m ² 1,160.61	72,621	
建物	m ² 282.07 <hr/> 766.86	5,608				2,735	m ² 282.07 <hr/> 766.86	2,873	
工作物	個 3	0					個 3	0	
公有財産に準ずるもの	/	203	/		/		/	203	
電話加入権	件 4	203					件 4	203	

令和7年度中増減なし

借地借家等調

(令和7年8月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は 借約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務所建	富士市今泉2921	R	C	585.90 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	トレーニングルーム
2		事務所建	富士市今泉2921	R	C	21.60 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	体育準備室
3		事務所建	富士市三ツ沢194-1	R	C	463.55 765.90 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	生活館 (東雲館)
4		雑屋建	富士市三ツ沢194-1	ﾌﾞｯｸ		28.82 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	生活館 (東雲館) プロショップ
		計				1,402.22 m ²					
5	工作物	雑工作物	富士市今泉2921	鉄骨		35.00 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	不燃物屋 回収小屋
6		雑工作物	富士市今泉2921	鉄骨		23.94 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	ﾀﾞｯｸアウト
7		雑工作物	富士市今泉2921	鉄骨		8.63 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	ｽﾎﾟｰﾄ
8		雑工作物	富士市今泉2921	鉄骨		48.16 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	ﾌﾞﾙﾊﾞﾝ
9		雑工作物	富士市今泉2921			0.49 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	ｶｳﾝﾄ 表示器
10		雑工作物	富士市今泉2921			0.60 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	ﾃﾆｽｺｰﾄ 防球ネット 支柱
11		雑工作物	富士市今泉2921			23.75 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	ﾌｰﾙ見学席
12		照明装置	富士市今泉2921			5.30 m ² 600.00 m	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ 夜間照明
13		冷暖房装置	富士市今泉2921			1.52 m ² 7.80 m ² 15.72 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	会議室 空調設備
14		雑工作物	富士市今泉2921			8.03 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	野球投球練習 場横防球 ネット
15		囲障	富士市三ツ沢194-1			52.00 m	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	生活館 (東雲館) ｺﾝｸﾘｰﾄ壁ﾌｪﾝｽ
16		照明装置	富士市三ツ沢194-1			3.00 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	生活館 (東雲館) 外灯
17		舗床	富士市三ツ沢194-1			198.00 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	生活館 (東雲館) 舗床
18		水道	富士市三ツ沢194-1			208.00 m	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	生活館 (東雲館) 下水管等
19		冷暖房装置	富士市今泉2921			2.81 m ² 86.00 m ² 13.19 m ²	-	無償	7.4.1 12.3.31	静岡県立 富士東高等学校 PTA会長	教室 空調設備
20		雑工作物	富士市今泉2921	鉄骨		11.48 m ²	-	無償	7.4.1 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	ﾌﾞﾙﾊﾞﾝ

整理 番号	区分	種 別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所 有 者 又 は 契 約 者 氏 名	用 途
				台帳	現況		単価	年額			
21		冷暖房装置	富士市今泉2921			908.00 m ²	-	2,425,159	6. 7. 1) 19. 6. 30	N T T ・ T C リ ー ス 株 式 会 社 静 岡 支 店	特 別 教 室 調 空
22		雑工作物	富士市今泉2921			120.00 m ²	-	無償	7. 8. 1) 8. 3. 31	静 岡 県 立 富 士 東 高 等 学 校 後 援 会 長	打 撃 練 習 用 ネ ッ ト
		計				1,427.62 m ² 953.80 m		2,425,159			
23	立木竹	樹木	富士市三ツ沢194-1			56 本	-	無償	7. 4. 1) 8. 3. 31	静 岡 県 立 富 士 東 高 等 学 校 後 援 会 長	生 活 館 (東 雲 館) 樹 木
		計				56 本					

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年8月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	(契約額の年度別内訳)							
				3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
長期継続契約	電子複写機賃貸借契約	電子複写機賃貸借 (契約日) R5.12.18	円 1,234,530	円	円	円 61,726	円 246,906	円 246,906	円 246,906	円 246,906	円 185,180
	カラー印刷機賃貸借契約	カラー印刷機賃貸借 (契約日) R3.12.27	円 3,300,000	円 110,000	円 660,000	円 660,000	円 660,000	円 660,000	円 550,000		

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年8月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	1.00 m ²	円	免除	4.4.1 9.3.31	富士市長	市指定避難場所標示板
2	建物	事務所建	富士市今泉2921	RC	1階	1.00 m ²		免除	5.4.1 8.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	ピンポイント1
3	土地	学校敷地	富士市三ツ沢194-1 富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	3本	1,500	4,500	3.4.1 8.3.31	東京電力パワーグリッド株式会社	小柱1本 支線柱1本 支線1条
4	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	0.12 m ²		免除	7.4.1 12.3.31	富士市長	防犯街路灯
5	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	607.50 m ²		免除	7.4.1 12.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	トルニグルム585.90 体育準備21.6
6	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	35.00 m ²		免除	7.4.1 12.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	不燃物回収小屋
7	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	25.52 m ²		免除	7.4.1 12.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	記念碑
8	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	23.94 m ²		免除	7.4.1 12.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	グックアウト
9	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	8.63 m ²		免除	7.4.1 12.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	スコアボード
10	建物	事務所建	富士市今泉2921	RC	1階	0.03 m ²		免除	4.4.1 9.3.31	富士市長	富士市広報無線 防災無線
11	建物	事務所建	富士市今泉2921	RC	2階	27.00 m ²		免除	5.4.1 8.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	購買
12	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	48.16 m ²		免除	7.4.1 12.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	ブルペン
13	土地	学校敷地	富士市三ツ沢194-1	学校敷地	学校敷地	2114.18 m ²		免除	7.4.1 12.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	生活館
14	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	0.49 m ²		免除	7.4.1 12.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	カウンタ表示器
15	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	0.60 m ²		免除	7.4.1 12.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	テニスコート 防球ネット支柱
16	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	23.75 m ²		免除	7.4.1 12.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	プール席 見学席
17	建物	事務所建	富士市今泉2921	RC建物敷地	1階建物敷地	1.52m ² 7.80m ² 15.72m ²		免除	7.4.1 12.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	会議室 空調設備
18	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	14.80 m ²		免除	7.4.1 12.3.31	富士市長	富士市防災用 備蓄倉庫
19	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	5.30 m ² 600.00m ²		免除	7.4.1 12.3.31	静岡県立富士東高等学校後援会長	グラウンド 夜間照明 1基

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の住所氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
20	土地 建物	学校敷地 事務所建	富士市今泉2921	R C	1階-3階 学校敷地	2.81㎡ 86.00㎡		免除	7.4.1) 12.3.31	静岡県立 富士東高等学校 PTA会長	教室 空調設備
				学校敷地	学校敷地	13.19㎡					
21	建物	事務所建	富士市今泉2921	R C	2階	3.30		免除	5.4.1) 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 PTA会長	進路補助員 執務場所
22	建物	事務所建	富士市今泉2921	R C	3階	3.30		免除	5.4.1) 8.3.31	静岡県立 富士東高等学校 PTA会長	PTA雇用職 員執務場所
23	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	11.48		免除	7.4.1) 12.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	ブルペン
24	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	8.03		免除	7.4.1) 12.3.31	静岡県立 富士東高等学校 後援会長	野球投球練 習場横防球 ネット
25	土地 建物	学校敷地 事務所建	富士市今泉2921	R C 建物敷地	2階 建物敷地	6.00		399,300	6.4.1) 9.3.31	コカ・コーラボト ラーズジャパン(株)	自動販売機 3台
26	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	6.00		298,100	6.4.1) 9.3.31	コカ・コーラボト ラーズジャパン(株)	自動販売機 3台
27	土地 建物	学校敷地 事務所建	富士市今泉2921	R C 建物敷地	1階 建物敷地	0.84		1,540	7.4.1) 10.3.31	松本印刷(株)	広報用デジ タルサイ ネー
28	土地 建物	学校敷地 事務所建	富士市今泉2921	R C	1階-2階 建物敷地	529.65㎡ 162.00㎡		免除	5.4.1) 8.3.31	静岡県立富士特別 支援学校長	富士特別支 援学校富士 東分校設置
				建物敷地	建物敷地	2.00㎡					
29	土地	学校敷地	富士市今泉2921	学校敷地	学校敷地	7.21㎡		免除	7.4.1) 8.3.31	静岡県立富士特別 支援学校長	富士特別支 援学校富士 東分校設置
合計								703,440			

普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年8月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	宅地	富士市富士見台 4-3-5	宅地	宅地	3条	円 1,500	円 4,500	7.4.1) 10.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	支線
2	土地	宅地	富士市富士見台 4-3-5	宅地	宅地	1本	円 1,500	円 1,500	6.4.1) 9.3.31	東京電力 パワーグリッド(株) 富士支社長	本柱
合計								6,000			

職員公舎管理状況調

(令和7年8月31日現在)

整理番号	所在地	建築年月	構造	管理戸 (室)数 (A)	入居戸 (室)数 (B)	Bの内他 事務所職員 入居戸(室)数	空屋戸 (室)数 (A - B)	摘要
1	富士市富士見台 4丁目3 - 5	S53・3	RC3F 1棟	6戸	1戸	1戸	5戸	吉原工業高校 1戸 H27. 4. 1~ 空家 1戸 H27. 5. 1~ 空家 1戸 H29. 4. 1~ 空家 1戸 H29. 6. 1~ 空家 1戸 H30. 4. 1~ 空家 1戸
2	富士市富士見台 4丁目3 - 5	S55・3	RC3F 1棟	6戸	2戸	1戸	4戸	市立沼津高校 1戸 H29. 4. 1~ 空家 1戸 R 3. 4. 1~ 空家 1戸 R 5. 4. 1~ 空家 1戸 R 6. 5. 1~ 空家 1戸
	計			12戸	3戸	2戸	9戸	

主 要 備 品 調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名・規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	3-3	プロジェクター	普通教室プロジェクター マクセル MC-AW3005J	毎日(年間200日) 授業で使用	令和3年3月	円 4,207,500
2	2-1	パーソナルコンピューター (一式)	iPad 80台 充電保管庫 2台	毎日(年間200日) 授業・校務で使用	令和3年3月	3,808,217
3	2-2	放送装置	音声調整卓、ミュージック チャイム、プログラムタイム	毎日(年間200日) 校内放送用	平成28年2月	1,382,940
4	10-12	トレーニング用器具	レッグカール、エクステン ションマシン	毎日(年間200日) 授業・部活で使用	平成元年12月	1,107,250
5	10-12	トレーニング用器具	バタフライ、ローイング マシン	毎日(年間200日) 授業・部活で使用	平成元年12月	952,750
6	10-7	鍵盤楽器	グランドピアノ	毎日(年間200日) 音楽の授業・吹奏楽部演奏・伴 奏用	昭和53年3月	800,000
7	2-1	その他の情報処理機器	校内LANサーバー式	現在停止中	平成21年7月	793,800
8	6-4	変圧器整流器	大型電源装置	週4日(年間160日) 物理授業で使用	平成4年10月	710,000
9	2-2	放送装置	グラウンド放送設備 壁取付用ワイヤレス	週2日(年間80日) 体育の授業・学校行事・部活動 で使用	平成30年10月	660,960
10	10-6	教育調理器具	教師用調理台	週3日(年間120日) 家庭科調理実習で使用	平成10年8月	640,500
11	10-12	野球・ソフト用器具	バッティングゲージ用 ネット一式	毎日(年間200日) 野球部バッティング練習用	平成3年3月	623,150
12	2-1	その他の情報処理機器	教務LANファイルサーバ	年間3日 旧データ保管用	平成27年9月	587,628
13	10-6	教育調理器具	生徒用調理台	週3日(年間120日) 家庭科調理実習で使用	平成10年8月	567,000
14	10-6	教育調理器具	生徒用調理台	週3日(年間120日) 家庭科調理実習で使用	平成10年8月	567,000
15	10-6	教育調理器具	生徒用調理台	週3日(年間120日) 家庭科調理実習で使用	平成10年8月	567,000
16	10-6	教育調理器具	生徒用調理台	週3日(年間120日) 家庭科調理実習で使用	平成10年8月	567,000
17	10-6	教育調理器具	生徒用調理台	週3日(年間120日) 家庭科調理実習で使用	平成10年8月	567,000
18	10-6	教育調理器具	生徒用調理台	週3日(年間120日) 家庭科調理実習で使用	平成10年8月	567,000
19	10-6	教育調理器具	生徒用調理台	週3日(年間120日) 家庭科調理実習で使用	平成10年8月	567,000
20	10-6	教育調理器具	生徒用調理台	週3日(年間120日) 家庭科調理実習で使用	平成10年8月	567,000

職 員 調

(令和7年8月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	朝倉 徹	総括		年 月	
2	副校長	熊谷 仁	総括補助		年 月	
3	教頭	脇谷 成美	総括補助		年 月	
4	教諭	渡邊 泰之	数学		年 月	
5	教諭	関口 伴英	国語		年 月	
6	教諭	鎌田 泰志	理科		年 月	
7	教諭	白石 幸裕	理科		年 月	
8	教諭	時田 まゆみ	英語		年 月	
9	教諭	大沼 克浩	保健体育		年 月	
10	教諭	篠宮 陽光	国語		年 月	
11	教諭	田島 弘美	英語		年 月	
12	教諭	矢田 晶	情報		年 月	
13	教諭	増田 裕	保健体育		年 月	
14	教諭	伊藤 智章	地歴公民		年 月	
15	教諭	土橋 真里	英語		年 月	
16	教諭	杉山 由紀	国語		年 月	
17	教諭	黒田 幸司	保健体育		年 月	
18	教諭	渡邊 純子	数学		年 月	
19	教諭	渡邊 潤	数学		年 月	
20	教諭	藤井 岳之	理科		年 月	
21	教諭	田口 愛	国語		年 月	
22	教諭	勝亦 宏行	数学		年 月	
23	教諭	宇佐美 桂	国語		年 月	
24	教諭	藤森 数正	地歴公民		年 月	
25	教諭	鈴木 翔太	地歴公民		年 月	
26	教諭	石川 祐輔	地歴公民		年 月	
27	教諭	松田 和也	数学		年 月	
28	教諭	加藤 朋美	英語		年 月	
29	教諭	中山 侑	英語		年 月	
30	教諭	大沼 賢優	理科		年 月	
31	教諭	鈴木 大翔	保健体育		年 月	
32	養護教諭	川口 恵里奈	養護		年 月	
33	実習助手	高倉 千恵	理科		年 月	
34	事務長	中谷 梨沙	事務総括		年 月	
35	主査	宮城島 智	施設・管財		年 月	
36	主任	佐藤 詠美	会計		年 月	
37	主事	石原 実侑	庶務・給与		年 月	
平均年数					年 月	

臨時・会計年度任用職員等

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	実習助手(臨)	鳥居 美幸	理科		年 月	
2	会計年度任用職員 (非常勤講師)	坂本 真樹子	国語		年 月	
3	会計年度任用職員 (非常勤講師)	星野 有加里	国語		年 月	
4	会計年度任用職員 (非常勤講師)	日野原 健一	理科		年 月	
5	会計年度任用職員 (非常勤講師)	佳元 大樹	保健体育		年 月	
6	会計年度任用職員 (非常勤講師)	中村 あゆみ	家庭		年 月	
7	会計年度任用職員 (非常勤講師)	川口 千恵	音楽		年 月	
8	会計年度任用職員 (非常勤講師)	長田 佳代	美術		年 月	
9	会計年度任用職員 (非常勤講師)	三浦 すみれ	書道		年 月	
10	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	井上 利律	用務		年 月	
11	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	岩見 文義	用務		年 月	
12	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	高木 勝也	用務		年 月	
13	会計年度任用職員 (スクールカウンセラー)	飯田 浩子	教育相談		年 月	
14	会計年度任用職員 (スクールカウンセラー)	久保 伸年	教育相談		年 月	
15	会計年度任用職員 (部活動指導員)	高田 和夫	柔道部		年 月	
16	会計年度任用職員 (部活動指導員)	田中 覚	サッカー部		年 月	
17	会計年度任用職員 (部活動指導員)	河角 伸二	バドミントン部		年 月	
18	会計年度任用職員 (外国語指導講師)	Sarah Belyk	英語		年 月	
19	学校医	清水 千枝	内科		年 月	
20	学校医	小森 雅彦	眼科		年 月	
21	学校医	長谷川 剛	耳鼻科		年 月	
22	学校医	齋藤 充良	歯科		年 月	
23	学校薬剤師	廣瀬 広一朗	薬剤師		年 月	
24	健康管理医	土屋 厚子	健康管理医		年 月	

職員の年齢調

(令和7年8月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	3	
30歳以上40歳未満	8	
40歳以上50歳未満	10	
50歳以上56歳未満	7	
56歳以上61歳未満	6	
61歳以上	3	暫定再任用職員3人
計	37	平均年齢 45.9歳

健康管理

1 前年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 36人 職員数 36人
受 診 率	100 %
県平均受診率	100 %

(1) 未受診の理由

2 本年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		1(1)人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	1(1)人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	9(9)人
D 2		要経過観察	14(14)人
D 3		医 療 不 要	12(12)人
区 分 者 計			37(37)人
未区分者数			0人
合 計			37(37)人

(1) 管理区分 A ~ C 2 該当者
に対する措置状況
A : 休職中
C 2 : 産育休中

(2) 未区分の理由
ア 産休・育休 0人
イ 新規採用 0人
ウ 自己都合による未受診 0人
エ その他 0人